

## 平成30年度 第1回 学校運営協議会

日時：平成30年7月18日（木） 16:00～17:30

場所：本校 校長室

出席者：学校運営協議会委員6名、武田校長、事務局員

### 1 学校運営協議会 実施要項 について

本年度から学校運営協議会に移行する。役割に、学校運営に関する基本的な方針の承認、教育委員会に対する意見の申出、校長に対する意見の申出が規定されるなど、規則で規定している主な内容を、事務局から説明。

### 2 会長・副会長の選出

会長に 福永光伸氏を、副会長に 中村俊一氏を、選出。

### 3 学校長挨拶 及び 学校運営協議会委員自己紹介

これまでの課題を引き継ぐとともに、新たに教育相談体制の見直しや迅速な生徒情報の共有化にも取りくんでいきたいと挨拶。次に各委員からの自己紹介。

大阪教育大学 教授 福永 光伸 様、 立志館ゼミナール 中村 俊一 様、 同窓会 副会長 高木 学 様、  
堺市税事務所所長 山崎 久樹 様、 しまだ病院 医師 志賀 亮子 様、 本校PTA会長 中村 潤 様

### 4 事務局より

実施要項に関係する様式や資料、平成31年度使用教科書について説明し、承認をいただいた。

### 5 泉陽高校より報告

#### ① 平成30年度学校経営計画について

前年度未作成の計画に一部加筆している。振り返りシートは学習の PDCA サイクルを効果的に回せているので継続していく。生徒のロールモデルとなる人材による講話は、本校卒業の大学生を講師として6月に実施した。チーム泉陽として課題解決にあたる教員集団の確立については課題と考えている。スクールカウンセラーなどの外部人材の活用による教育相談体制の見直し、迅速な生徒情報の共有化について新たに加えた。進学実績は上がっているが、遅刻・欠席がかさみ、頻繁に保健室に来室する生徒がいる。そのことで進路の変更を考える生徒への取組みを行いたい。

#### ② 平成29年度 進路実績 について

国公立合格者数は 33.5%と安定している。大阪大や神戸大等への進学者数も伸びている。進路未決定者も74 名いるが、多くが国公立大をめざしている。近畿圏外の国公立大への進学者も見られるが、大阪市立大、大阪府立大など近くの大学への進学者が多い。近畿圏の私大進学一覧には、近畿大を関関同立とともに記載。

### 6 委員による協議 および 学校経営計画についての承認

〔委員の方からの意見〕

- 学校経営計画を具体化したものはありますか。
- 子どもたちの心の支援についての取り組みは進学校でも大切なことである。
- 発達障がい等に関することを、先生はどれだけ学んでいるか気になる。職員への研修支援が必要。
- 高校生にもICT やスマホの普及により、大量の情報を流し読む傾向がある。確実に日本語能力は落ちてきている。
- 小中学校でも朝読の活動をやっているが、読書習慣が浸透しない現実がある。高校で、読書活動をその目標におくことは重要である。
- 評価指標に基づいて、組織的に具体的・計画的に取り組むのが重要である。
- 挨拶習慣や清掃活動だけに力を入れている学校もある。
- 先生方の時間外労働を減らすためには、どの時間を減らすのか、部活動の時間はどうなるか。
- 運動部では、国や府の施策として大会を減らすとかの方向になるのではないか。

〔校長より〕 学校では、学校教育計画や堺市と連携した防災基本計画等を作成している。生徒向け災害備蓄をいま検討している。時間外労働はノークラブデーの活用などにより改善されつつある。今日いただいたご意見ご助言をもとに、学校運営に取り組んでいきたい。

- 上記の協議ののち、学校経営計画について、全委員の一致で承認した。

### 7 諸連絡

第2回は11～12月に開催する予定。6限目の授業を見学後、協議会を行う。